

# 農繁期

## レポート

令和2年 4-5月号

# 栄ファーム

オーナー 栄運輸工業株式会社

水田面積 18.4アール

保証量 玄米 828kg

形態品種 特別栽培コシヒカリ



## 生産者 三上 惇二さん

雪の無い冬でそういう年は春の水不足を皆が心配しておりましたが、山からくる水は豊富にあり、時折降る雨を山は蓄えていたのだと自然の凄さに驚いております。また、新型コロナウイルスの農作業の影響も心配されましたが過疎地域ゆえに密もなく、また鳥取県内は発生も極めて少なかったので例年通りに作業が進められました。天気の良い春ですので田植え後の稲も元気に成長しておりますが天気が良いからこそヒエ等の雑草も元気を出してきているので水管理をしっかり行い、生やしにくい環境にしてみたいです。

### 4月～5月の作業内容

#### 1. 井出さらい

井出＝水路のことで、秋から春にかけて水路に溜まった泥や葉っぱ等を集落ごとに協力して掃除をします。お米づくりには沢山の水が必要になるため、田植え前の重要な準備です。



井出さらい(水路掃除)

#### 2. 育苗(いくびょう)

種を直接田に植えると気温変化の影響を受ける為、環境を一定にした育苗ハウスで根の張りや硬さを見て12cm位まで育てます。苗半作(なえはんさく)という言葉があるほど苗づくりは稲の生育や収量に大きく左右します。



育苗

#### 3. 田起こし・荒起こし

良い土壌にするためにトラクターで田を掘り起こします。雑草の根を断ち、土の中に酸素を取り込みながら有機物を埋没させます。この時、海藻肥料もかき混ぜて土壌を最適な状態に上げていきます。



荒起こし

#### 4. 田植え・水の管理

苗を田んぼに移植することを「田植え」と言い、地域によって水温気温等の条件が違うため時期も異なります。田植え機で肥料も一緒に撒くと、苗の即栄養となって、田んぼへの根ハリや成長促進の効果があります。



田植え